

2015年「アルミ業界重大ニュース」について

2015年12月25日

(一社)日本アルミニウム協会

項 目	コ メ ント
① 経済産業省、金属素材競争力強化プランを策定	6月、経済産業省は鉄鋼・非鉄金属産業の中長期の競争力強化に向けた課題、対応策などを盛り込んだ「金属素材競争力強化プラン」を策定。技術開発戦略、国内製造基盤強化戦略、グローバル戦略の三つの柱ごとに、素材や業界の垣根を越えて産官連携で取り組むべき施策を掲げた。
② アルミ新地金の対日プレミアムが急落	中国経済の減速によるアルミ需給緩和等が影響し、アルミ新地金の10～12月期対日プレミアムは90ドル/トと、1～3月期の425ドル/トから80%近く下落。
③ アルミ企業の海外展開が加速	アルミ企業の海外展開が加速。㈱UACJはタイでアルミ板材の一貫生産を開始。昭和アルミニウム㈱はベトナムで缶蓋ラインを新設、缶胴と蓋の一貫生産体制を確立。三菱アルミニウム㈱はインドで熱交換器用アルミ押出多孔管の生産を開始。
④ 東京メトロとのタイアップ広報を実施	アルミ協会は、東京メトロとのコラボレーションにより、11月10日～24日の2週間に亘り、主要駅（全113駅）にポスターを掲示。「東京メトロは、なぜ全部アルミ車両？」をキャッチコピーとし、鉄道車両のアルミ化による軽量化とリサイクルの推進をアピール。
⑤ 中国の半製品輸出が増加、各国が懸念表明	各国の生産能力が増設される中、国内需要の減速感が鮮明となり、中国からの半製品輸出が急増中。偽装地金問題と併せ、欧米諸国を含む各国が警戒感を露にしている。
⑥ TPPが大筋合意、アルミ製品の需要拡大へ期待	日米など12ヶ国による環太平洋経済連携協定（TPP）が大筋合意。加盟国へのアルミ製品の大部分の輸出関税が即時撤廃へ。アルミ板の対米輸出、並びに自動車部品の関税撤廃によるアルミの国内向け出荷増に期待。
⑦ 土木分野へのアルミ需要拡大に尽力	アルミ協会より土木学会へ検証を委託した「アルミニウム合金製土木構造物設計制作指針(案)」が完成。6月に東京、10月に大阪で講演会を開催して、今後の土木分野でのアルミ需要拡大への足掛かりをつくった。
⑧ レーザーを使った固体選別技術（LIBS選別）の実証プロジェクト、順調に推移	アルミスクラップを溶解せずに、固体のままレーザー照射により選別する実証プロジェクトが経済産業省の支援を受けて順調に推移しており、今後、鉄道車両や自動車向けアルミ材への展開が期待される。既にサッシではX線を使った固体選別が実用化段階に入っている。
⑨ アルミ缶リサイクル率、87.4%と前年度より3.6%アップ	6月、アルミ缶リサイクル協会は、2014年度のアルミ缶リサイクル率が前年度比3.6%増の87.4%になったと発表。国内のアルミ缶回収量の増加に加え、韓国向けUBC輸出が減少したことが要因。なお、財務省は1月分の統計からアルミ屑のHSコードを使用済アルミ缶（UBC）と一般屑に分類した。

以 上